

# スタートガイド

HMS-350Y/RMTS みまもりリモコン温度計内蔵セット

Rev. 1.10

# はじめに

本書はHMS-350Yの設置・接続、必要最低限の操作方法までを説明しています。  
より詳しくお知りになりたい方はHMS-350Y共通マニュアルをご覧ください。

(本製品は防水仕様でない為、設置は水に濡れないようにご注意ください)

## トさい) パッケージ同梱物

- ・HMS-350Y本体（以降メインユニット）
- ・ACアダプタ 1個
- ・縦置き用スタンド 1個
- ・HMS-350Yシリーズ共通マニュアル 1冊
- ・スタートガイド（本誌）
- ・HMS-H300RMTS 赤外線学習リモコン温度計付き（以降「赤外線リモコン」）
- ・壁掛け用ハンガー（アタッチメント） 1個

別途ご用意下さい

- ・インターネットに接続可能な端末（携帯電話、パソコン等）
- ・UPnP機能を持つモデム（ルーター）
- ・LANケーブル 1本

## 困ったときは？

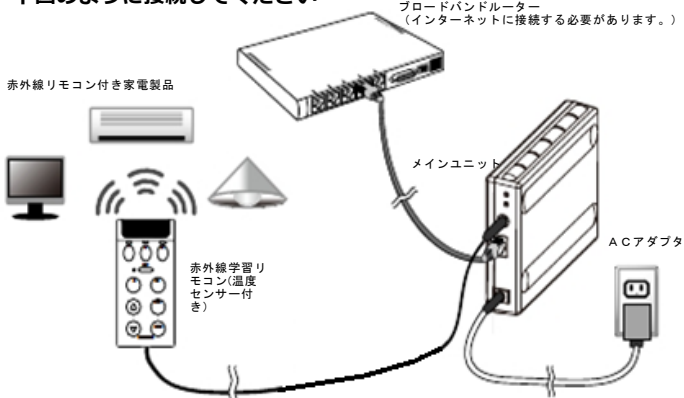
- ・サポートページ <http://www.gool-tech.co.jp/support/h350y/>

※Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※Windows Vista® は米国 Microsoft Corporation の米国、日本および/またはその他の国における登録商標または商標です。

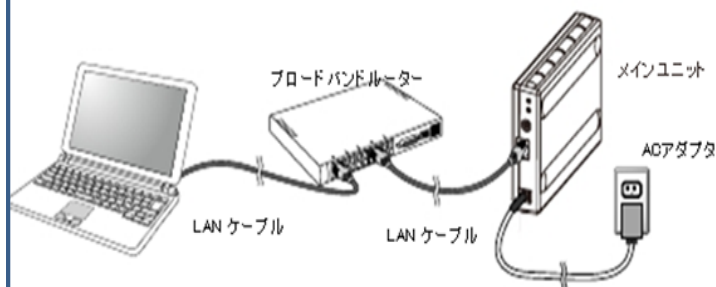
## ステップ1 機器の接続

下図のように接続してください



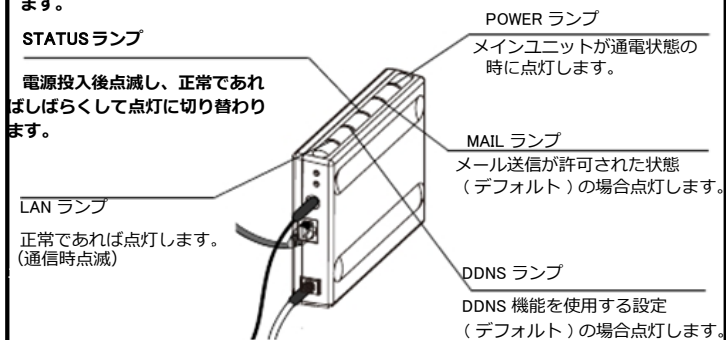
補足 ローカルネットワーク内でも設定できます

本機の設定は携帯電話・パソコン等のインターネット接続可能な端末を用いて外部からアクセスする事を前提としていますが、同一LAN内にあるパソコンからでも設定は可能です。  
 <詳細は弊社サポートページ参照 <http://www.aool-tech.co.jp/support/h350v/>>

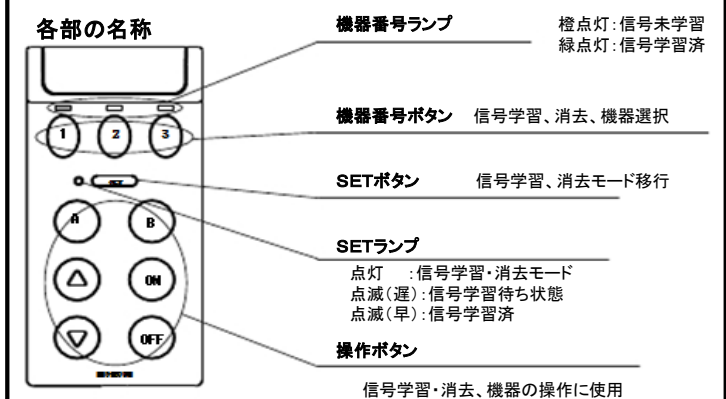



## ステップ2 起動確認

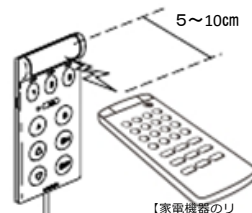
下図の様に接続しメインユニットの電源が入ると各ランプが点滅・点灯を開始します。



### ステップ3 赤外線リモコンに信号を学習させる



- ①SET ボタンを約 3 秒間押し続けて下さい。(SET ランプが点灯)  
②機器番号ボタン (1 ~ 3) いずれか) を押します。  
③信号を学習させたい**操作ボタン**を押して離すと SET ランプが約 10 秒間点滅 (遅) します。  
※押した操作ボタンに信号がすでに学習済みの場合、SET ランプは数回点滅 (速)  
④SET ランプ点滅中に、家電機器リモコンの学習させた  
ボタンを赤外線リモコンに向けて押して下さい。  
信号の学習に成功すると全ての機器番号ランプが  
約 1 秒間緑に点灯します。  
⑤信号の学習に必要な回数②~④を繰り返して下さい。  
(SET ランプ消灯時は再度①を行った後⑤を行う)
- 
- The diagram illustrates the correct distance for pointing the remote control at the device. A dashed line indicates a distance of 5~10cm between the remote control and the device's sensor area.



### ＜信号の消去方法＞

信号登録時同様、SETランプ点灯時に消去する信号が学習されている機器番号ボタンを押しながら、操作ボタンを押して下さい。

(消去に成功するとSETランプが一瞬の消灯後、再度点灯します)

※学習された信号を全て消去すると、機器番号ランプが緑から橙色に変わります

信号の学習・消去モードを終了するにはSETボタンを押後、SETランプを消灯させて下さい。(SETランプが点灯状態でも何回もしなければ、約20秒後自動的に消灯します)

※重要※ダイキンエアコン付属のリモコンを除く、ほぼ全てのリモコンに関して問題なく学習出来る事が確認済みです。ダイキンエアコン付属リモコンについても記憶可能な個数に制限(最大4つまで記憶等)がある場合がございます。ご了承ください。

## ステップ4-1 メール送信先の設定1/2

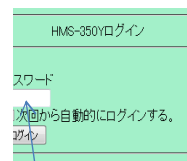
HMS-350Yでは停電復旧時、動作、設定変更、故障等のトラブルをメールで通知しますが、通知を受けるためには、事前にメールアドレスを設定する必要があります。  
下記の手順に従ってメールアドレスを必ず設定してください。

### ＜使用方法＞

- 1・HMS-350Yメインユニットと同一LAN上のWindowsPC(補足参照)より<http://www.qool-tech.co.jp/support/h350y/index.html>にアクセスし、
- 項目4. のローカルセットアップソフトウェアをダウンロード
- 2・ダウンロード完了後、ZIP圧縮されたファイルを解凍
- 3・解凍されたファイルをダブルクリックでソフトウェア起動
- 4・起動後、ソフト左下にある“Find”をクリックする事でLAN上にあるHMS-350Yを検索します。
- 5・検索を終え、LAN上にHMS-350Yが見つかったらURLが表示されるのでクリックしてください。(表示されない場合は、HMS-350YのSTATUSランプの点灯を確認し再度“Find”ボタンをクリック)
- 6・ログイン画面が表示されたら、パスワードを入力、設定画面へアクセスします。

※本ソフトウェアの使用にはWindows搭載PCが必要です

スマートフォンで同じユーザーにWiFi接続する場合、つながりません。その場合は3G若しくはLTE接続に変更をお願いします。



ログイン画面表示後、共通マニュアルの最後ページに印刷されているパスワードを入力してログインボタンを押して下さい。

## ステップ4-2 メール送信先の設定2/2

HMS-350Y操作 [表示更新](#) [ログアウト](#)

■ 赤外線リモコン  
● 1(エアコン) ● 2 ● 3  
[送信](#)

現在の室温は 15℃です。  
更新してください。 [更新](#)

メール送信 許可 [送信](#)

[履歴](#) [設定](#)

画面下にある [設定](#) をクリックして下さい。

メール送信先 をクリックします

メール送信先設定 [ログアウト](#)

HMS-350Yから、これらのメールアドレス宛にメールが送られます。  
メールアドレスを入力して、「設定」ボタンを押してください。  
5件まで登録できます。

[設定](#)

[設定項目一覧ページへ](#)

これで HMS-350Y をご利用いただく上で最低限の準備は整いました。他にも様々な機能、設定がございます。更に詳細な設定を御希望の方は同梱の共通マニュアルをご覧ください。

設定項目一覧 [ログアウト](#)

[パスワード変更](#)  
[ログイン設定](#)  
[メール送信先](#)  
[メール件名・送信者名変更](#)  
[機器名称変更](#)  
[WEBサーバーポート番号変更](#)  
[IPアドレス/DNS設定](#)  
[Dynamic DNS 設定](#)

通知を希望するメールアドレスを入力して [設定](#) ボタンを押して下さい

## ステップ5 温度センサーの使い方

赤外線学習リモコンHMS-350RMTSは温度センサーを内蔵しています。

裏面

温度表示範囲：-15℃～+65℃ 温度精度：±1.5℃

センサー開口部  
設置の際、塞がないように注意して下さい

※注意※  
センサーは防水仕様ではございません、設置場所にご注意下さい

HMS-350Y操作 [表示更新](#) [ログアウト](#)

■ 赤外線リモコン  
● 1(エアコン) ● 2 ● 3  
[送信](#)

現在の室温は 15℃です。  
更新してください。 [更新](#)

メール送信 許可 [送信](#)

[履歴](#) [設定](#)

温度が表示されます、更新ボタンを押すことで最新の温度に表示が更新されます。  
\*温度センサーの表示更新は1分毎です。  
1分以内に何度更新ボタンをおしても、1分たないと更新されません。

設定項目一覧 [ログアウト](#)

[パスワード変更](#)  
[ログイン設定](#)  
[メール送信先](#)  
[メール件名・送信者名変更](#)  
[機器名称変更](#)  
[WEBサーバーポート番号変更](#)  
[IPアドレス/DNS設定](#)  
[Dynamic DNS 設定](#)  
[メール送信温度閾値設定](#)

一定の温度に到達した場合メールを送信する必要がある場合、クリックして下さい。

メール送信温度閾値設定 [ログアウト](#)

メールは条件を満たしている場合に約30分毎に送信されます。  
メール送信温度閾値設定

[設定](#)

[設定項目一覧ページへ](#)  
[操作ページへ](#)

設定したい温度をリストボックスから選択します

※上記操作を行うにはファームウェアが Ver1.27 以上である必要があります

## 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、当社サービス部門が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、当社サービス部門またはお買い上げの販売会社に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に当社サービス部門にお問い合わせください。
- ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売会社に修理をご依頼にならない場合は、当社サービス部門にご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
  - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
  - (5) 業務用等、苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
  - (6) 本書の提示がない場合
  - (7) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売会社名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

## 保証とアフターサービス

保証書について  
本書は保証書を兼ねています。保証書は、お買い上げの際に販売会社がお買い上げ日・販売会社名等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。  
記入のないものに関しては、納品書で代用します。本書とともに大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の保有期間  
当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品を製造打ち切り後5年間保有しています。修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売会社または当社サービス部門にお問い合わせください。

修理を依頼されるとき、異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの販売会社または当社サービス部門にご連絡ください。なお、本製品の故障もしくは不具合により発生した付随的損害の責についてはご容赦ください。  
保証期間中の修理に際しましては保証書及び納品書をご提示ください。無料修理規定に従って、修理させていただきます。  
保証期間が過ぎているとき、修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

技術料は故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。部品代は修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などはご負担ください。  
修理の際ご連絡いただきたい内容  
お買い上げ日、販売会社名：お客様のご連絡先故障の状況(できるだけ詳しく)  
本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

保 証 書			
品名		型名	
みまもりリモコン温度計セット		HMS-350Y/RMTS	
保証期間	本体		1 年
お買い上げ	年 月 日		販 売 会 社
お客様	お名前		所在地・名称(印)
	ご住所		
	電話	{ }	電話 { }

株式会社クール通信

〒141-0022東京都品川区東五反田1-6-3  
G-PLACE五反田B1F [TEL:0120-954-838](tel:0120-954-838)  
Mail:qool-support@qool-tech.co.jp